

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 南丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析

本校の児童は、「運動やスポーツをすることや体育の授業は楽しい」と肯定的な回答する児童が90%以上に達しており、男女とも普段から、平日においても平均25分以上は遊びも含め、体を動かしているという傾向がある。また、体育の授業が楽しいと感じる理由の中で、「できなかったことができるようになる」という理由が最も高い。その理由として、体育の授業で目標を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することの達成感が運動習慣に対して抵抗がなく、意欲的に取り組んでいるからだとする。全体的に男子よりも女子の意欲が高く、成果となって表れている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校の児童は男女共に、調査結果8項目全て全国、市の平均を上回っている結果となった。中でも、男女共に、20mシャトルランと立ち幅跳びに関しては全国、市とも平均を大きく上回っていた。これらについては、持久力や体全体を使った運動能力の向上が見られた結果である。男女別に見た結果からは、女子は平均値を大きく上回っているのに対して、男子の長座体前屈やソフトボール投げが平均値と同等であることから女子の方がわずかに運動することへの意欲が高く、その大切さも理解していると考えられる。ここ数年の女子の成果がめざましく伸びてきていることから日頃の授業において、十分な運動量の確保と準備体操や柔軟運動を確実に行うことを意識して今後とも取り組む必要がある。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

保健体育委員会や体育部が主催する体力アップ週間や1校1取組において、「ランランタイム」を1月に、「ぴょんぴょんタイム」を2月に実施した。目標をもって走ることやジャンピングボードを使って、縄跳びに挑戦する様子から、体を動かすことへの楽しさや友達と一緒に挑戦する意欲などが自然と体力向上につながっていると考えられる。今後とも、筋力や持久力、瞬発力などを高める運動を強化し、男女共に体力・運動能力の向上をめざす。